

共焦点レーザー顕微鏡



装置の概要

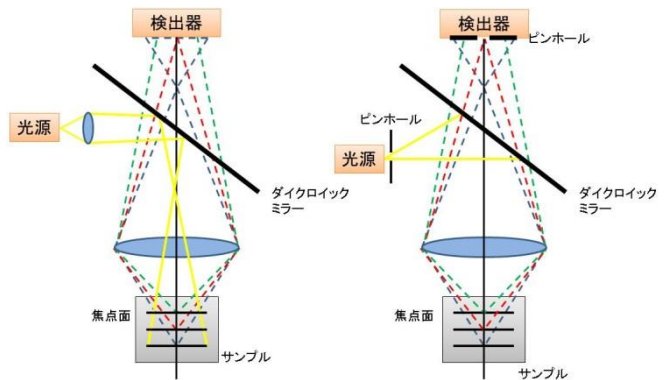
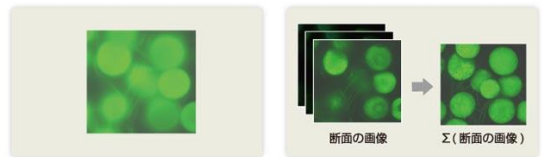
組織切片及び培養細胞中の目的分子を、蛍光標識された抗体等と反応させ可視化する装置

型式:C2+ (株)ニコンインステック
搭載レーザー:405 nm, 488 nm,
561 nm, 640 nm

測定原理

検出器の前にピンホールを配置することで、焦点面以外からの蛍光信号を排除し、解像度の高いイメージングを可能にした。

さらに、焦点の合ったZ軸方向の画像を組み合わせることで三次元画像を構築し、立体的観察が可能となる。



活用方法

- 薬物を投与した際の、生体内分子の局在変化が解析可能。
- 蛍光標識した薬剤の、生体内局在変化が解析可能。

鼻腔関連リンパ組織における細胞の局在

